

# つちうら認知症バリアフリー宣言

認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっています。

土浦市では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、「住み慣れた地域で暮らし続けていける、認知症バリアフリーの取組が推進されているまち つちうら」を、目指すべき姿として掲げ、実現に向けて認知症施策を展開しています。

認知症の人や家族の声及び視点を重視しながら、市民・社会・行政が一体となって、認知症について理解し、備え、対応していけるよう、認知症施策を更に推進していくことをここに宣言します。

- 1 認知症を正しく理解し、自分の事として考え、認知症の人や家族の想いに寄り添った行動ができる人を増やします。
- 2 周囲や地域の理解や協力の下、認知症の人もそうでない人も、誰もが持てる力を発揮して、自分らしく暮らせる地域づくりを進めます。
- 3 認知症の人や家族の声及び視点を重視しながら、市民・社会・行政が一体となって、認知症に備え、対応できる体制整備を進めます。
- 4 認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、認知症に関する情報発信及び情報共有ができる仕組みづくりを進めます。



令和5年4月1日

土浦市長 安藤真理子